

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高松市立下笠居中学校

【取組内容②】 アメリカ大学生とのオンライン交流学習

【中学校総合的な学習】 2年 高速ネットワーク環境を活用した海外との交流

日本文化に興味のあるアメリカの大学生が協力



ブレイクアウトルームでグループごとに分かれてお互いに自己紹介。そして、フリートーク



海外の大学生とウェブ会議ソフトでオンライン交流

アメリカ・ロチェスター工科大学の大学生とオンラインでリアルタイムに交流。その目的は、以下の3点である。

- ①視野の拡大
- ②英語によるコミュニケーション能力の向上
- ③郷土香川や日本のこと、自分自身を分かりやすく伝えようと準備することを通して、情報活用能力の育成を図ること

高速ネットワーク環境により、オンライン交流が可能となった。

また、交流相手がネット環境に慣れた大学生であり、少々の時差にも対応してくれたことは、重要なポイントであった。

英語力より「度胸が重要」と気づく

